

令和3年9月	豊川放水路 愛護モニター報告	モニター区間	放水路:左右岸 0.0km~6.6km 管轄出張所:豊川出張所
実施日	令和 3年 9月 25日	実施区間	放水路:左岸東江川樋門付近

今月は 県道386号線が 豊川放水路にかかる 新橋の
東にある 東江川樋門を 訪ねます。

小坂井側から 新橋を渡る ときに いつも目にはいる
ので 気になっていました。



調べると 下地町の 真ん中を 流れる 江川 が 豊川放水路に流入する水の量を 調整する
設備でした。下地町は 職場が あったので 何年も 通ったところなのに まったく 認識して
いませんでした。

樋門には 昭和34年9月に できたとあります。私は
3才。自分の 記憶の中に 放水路建設の 記憶が ない
のは まだ 子供 だったのだと 改めて思います。



この 樋門の 近くには 江川排水機場もあります。

そして 東江川樋門と 東海道本線の間にあるのが
見潮時橋(けんちょうじばし)です。私は地元の出身ですが
この橋は 生まれて始めて渡りました。



場所がら 通行する 車も少なく、釣りを する人 散歩を
する人、皆の 憩いの場所 に なっていました。

そのあと 江川沿いに 南に 移動します。

江川に 沿って 行くと 川は 旧東海道を横切り
瓜郷遺跡の横に出ます。



瓜郷遺跡は 豊川の 沖積地の中でも 周りよりやや
高い 自然堤防の上に 築かれた弥生時代中期から
古墳時代前期に かけての集落の 跡です。そして 静岡県
の 登呂遺跡とともに 学術的に 重要な 遺跡です。



東江川樋門のあるこの場所は 大昔から現在まで、
多くの人が行き来する 所で 東海道新幹線、東海道本線
国道一号線も ある 交通の要になっています。